



～美しい自然と温かい人たちに囲まれて、
本来の自分を取り戻せる島～

沖縄修学旅行 防疫観光ガイドライン

～安全・安心な受入をめざして～



令和5年9月29日更新



1. 修学旅行前や修学旅行中の相談窓口

修学旅行前の事前相談

●(一財)沖縄観光コンベンションビューロー 受入推進課 教育旅行チーム

TEL : 098-859-6129 (対応時間9:00~17:00 ※土日・祝祭日を除く)



okinawa 修学旅行

●(一財)沖縄観光コンベンションビューロー 東京事務所 教育旅行チーム

TEL : 03-5220-5311 (対応時間9:30~17:00 ※土日・祝祭日を除く)

修学旅行中に体調が悪くなった、または発熱者が出た場合



●沖縄県発熱コールセンター (旧：新型コロナウイルス感染症 相談窓口)

TEL : 098-866-2129 (24時間受付・年中無休)

沖縄県発熱コールセンターの役割

- ・24時間対応。検査・受診・後遺症その他ご相談。
- ・夜間、休日にお困りの際はご連絡ください。
- ・発熱外来対応医療機関などの紹介を行っております。

2. 沖縄へ来る修学旅行生のみなさまへ①

安全・安心な沖縄修学旅行を実施するため、新型コロナウイルス感染予防及び感染拡大防止対策にご協力をお願いいたします。

参考：沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課HPより 「沖縄県を訪れる方々へのお願いについて」

旅先での感染を予防するために 沖縄県を訪れる方々へのお願い

旅行前	来県前には、十分な健康観察を徹底した上でお越してください。 発熱等に備えた常備薬や検査キットの携帯をお願いします。
	体調不良の際には来県を延期いただき、改めての来県をお待ちしております。飛行機のキャンセル料など、医師の診断書があれば無料で払い戻しが受けられることがあります。それぞれの窓口に電話で相談してください。
	インフルエンザやコロナなど感染性の高い病気への濃厚接触が疑われるときは、帰省や民泊をホテル泊に変更するなど、高齢者との接触を控えるよう予定を変更してください。
旅行中	利用する事業者（ホテル、ダイビングショップ等）が求める感染対策ルールに従ってください。地域の流行状況や高齢者との接触リスクなどにより、マスク着用など感染対策の強化を求められることがあります。
	体調不良のときは、外出せずホテルでゆっくり休みましょう。受診すべきか分からない、受診先が分からないなどの相談は、「発熱コールセンター 098-866-2129」に電話をかけてください。
旅行後	旅行から戻って症状を認め、インフルエンザやコロナなど感染性の高い病気と診断された場合には、帰省や民泊先の家族や訪問した高齢者施設など沖縄県内で接触のあった人に可能な範囲で伝えてください。

2. 沖縄へ来る修学旅行生のみなさまへ②

安全・安心な沖縄修学旅行を実施するため、新型コロナウイルス感染症予防及び感染拡大防止対策にご協力をお願いいたします。

マスクの着用について

- 原則として個人の判断に委ねられます。
ただし、症状がある方、新型コロナウイルス感染症検査陽性者、同居家族に陽性者がいる方は混雑した場所への外出を控え、通院等やむを得ず、外出するときにはマスクを着用いただきますようお願いいたします。
- マスクの着用は個人の判断に委ねられますが、事業者が感染対策上または事業上の理由等により、利用者または従業員にマスクの着用を求めることは許容されます。
- 以下の場合、マスクの着用を推奨いたします。**
 - 高齢者や重症化リスクのある方と接する場合
(平和講話、民泊体験時など)
 - ガマ(洞窟)に入る入壕体験など、風通しの悪い空間に滞留する場合

マスク着用が効果的な場面 参考資料

- 「マスク着用の考え方の見直し等について」(令和5年2月10日)
(厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対策本部) 2ページ(2)
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001056912.pdf>



新型コロナウイルス感染症対策

これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用としていましたが
令和5年3月13日から
マスク着用は個人の判断が基本となります

ただし、以下のような場合には注意しましょう

周囲の方に、感染を広げないために

マスクを着用しましょう

受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時

通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時

ご自身を感染から守るために

マスク着用が効果的です

高齢者

慢性肝臓病
がん
心血管疾患 など

妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合や従業員がマスクを着用している場合があります

3. 沖縄修学旅行実施にあたっての 新型コロナウイルス感染症関連の留意事項

1. 沖縄県発熱コールセンターの役割

- ・24時間対応。検査・受診・後遺症その他ご相談。
- ・夜間、休日にお困りの際にご連絡ください。
- ・**発熱外来対応医療機関（①）などの紹介を行っております。**
※診療を受ける際は、事前に医療機関へ電話連絡してください。

<参考>

医療の逼迫状況によっては、オンライン診療（②）などの方法もご検討ください。

2. 感染が疑われる場合は・・・

- ・**事前に医療機関に連絡したうえで**、受診するようにしてください。
※発熱外来対応医療機関（①）をご参照ください。

3. 医療用抗原検査キット等の持参について

- ・夜間の発熱等に備えて、医療用抗原検査キットの持参、沖縄県内販売薬局（④）の事前確認をお願いします。
- ・**修学旅行生はほとんどの場合、軽症です。対象者の状態を確認し、宿泊施設にて一晩様子を見るなど、貴重な医療資源の活用にご協力ください。**
- ・持病を抱えている修学旅行生は処方されている薬を把握し、多めに持参ください。

4. 救急医療の適正利用について

- ・限りある医療資源を守り、緊急性の高い重傷患者の治療・搬送などが適切に行われるよう、**緊急を要しない救急要請（119番）・救急外来の受診はお控え下さい。**
- ・緊急性の判断に迷う場合は、「1. 沖縄県発熱コールセンター」へお問い合わせ下さい。

※令和5年9月29日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

修学旅行時の対応や 問い合わせ先に関する情報について

① [発熱外来対応医療機関](#)

TEL：098-866-2129

24時間対応可能

（沖縄県発熱コールセンター）



②



[オンライン診療対応機関一覧](#)

③ [自費検査を提供する検査機関一覧](#)

（都道府県別/厚生労働省サイト）



④ [抗原定性検査キットの沖縄県内販売薬局一覧](#)



4.体調不良時の相談について

※令和5年9月29日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

沖縄滞在中の発熱や体調不良など

新型コロナウイルス感染症相談窓口
(発熱コールセンター)

TEL 098-866-2129 24時間対応



受診が必要・希望

医療機関 (自己負担)

※通訳が
必要な場合

おきなわ医療通訳
サポートセンター
TEL 0570-050-235



軽 症

滞在先ホテルで療養

■参考：沖縄県 療養期間のめやすと接触者について

<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/kansen/soumu/hokennsyosien/supportgroup1.html>

6.よくある質問（FAQ）①

※ 令和5年9月29日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

沖縄修学旅行実施における新型コロナウイルス感染症対策について、保護者、学校関係者のみなさまからよくある質問を下記にまとめました。
修学旅行中におきましては、まずは同行される学校の先生、旅行会社、看護師のみなさまで対応を検討された上で
下記ご確認いただければと思います。

●修学旅行に関する問い合わせ先について

Q1.修学旅行前の事前相談についてはどこに連絡すればいいですか？

A1. 沖縄での修学旅行については下記にお問い合わせください。※行程などについては旅行社へお問い合わせください。

- （一財）沖縄観光コンベンションビューロー 受入推進課 教育旅行チーム
TEL：098-859-6129 （対応時間 9：00～17：00 ※土日・祝祭日を除く）
- （一財）沖縄観光コンベンションビューロー 東京事務所 教育旅行チーム
TEL：03-5220-5311 （対応時間 9：30～17：00 ※土日・祝祭日を除く）

Q2.修学旅行中に体調が悪くなった、また発熱者が出た場合、どこに連絡すればいいですか？

A2. 最寄りの医療機関へご相談、受診してください。
また、新型コロナウイルス感染が心配な場合は下記にご相談ください。

- 沖縄県発熱コールセンター**
TEL：098-866-2129 （24時間受付・年中無休）
※発熱外来対応医療機関の紹介を行っております。

6.よくある質問（FAQ）②

※令和5年9月29日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●修学旅行中の検査について

Q3. PCR検査はすぐに受けられますか？

A3. PCR検査が必要と認められた場合は検査を受けることができます。ただし、検査費用は自己負担となります。**医療機関の状況によってはすぐに受けられないこともあります。**また、夜間のPCR検査は沖縄県内では対応しておりません。感染の疑いがある生徒さまには**医療用抗原検査キットを推奨**しております。夜間の発熱などに備えて、キットの持参もしくは沖縄県内販売薬局を事前にご確認ください（[抗原定性検査キットの購入方法](#)）。

発熱等、新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合は沖縄県発熱コールセンター（TEL：098-866-2129）にご相談ください。

PCR検査をご希望の方は、下記に掲載の医療機関・検査場にて受検されてください。
[自費検査を提供する検査機関一覧（都道府県別/厚生労働省サイト）](#)



Q4.発熱者がPCR検査を受ける医療機関までの移動方法はどのように行えばいいですか？

A4. 移動手段は各自でご手配頂いております。公共交通機関の利用についても、基本的に制限はありませんが、混雑を避け感染対策を行ったうえで利用するようにしてください。

Q5. PCR検査にかかる費用はどのようになりますか？

A5. 自己負担となります。ただし、医療機関で診察を受けた場合は、検査料金に加え、受診料も必要となります。（通常のとおり保険適用分以外が本人負担となります。）

6.よくある質問（FAQ）③

※令和5年9月29日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●修学旅行中の検査について

**Q6.検査終了後、結果が出るまでの間、検査を受けた生徒はどのように過ごしたらよいでしょうか？
また、それに伴う費用負担はどうなるのでしょうか？**

A6. 医療機関等の指示に従い、原則、利用予定の宿泊施設で休養してください。ただし何らかの理由により、利用予定の宿泊施設が利用できない場合は、本人費用負担において、同行される学校の先生、旅行社の方などが対応可能な宿泊施設を手配することとなります。

なお、濃厚接触者の特定および法律に基づく行動制限は求められません。

**Q7.新型コロナウイルス陽性と判定された生徒は以降どういった処置が求められるのでしょうか？
また、それに伴う費用負担はどうなるのでしょうか？**

A7. 行政が患者に対し、外出自粛の要請等は行わず、季節性インフルエンザと同様に、個人の判断に委ねられます。また、保健所や行政機関への陽性報告義務もありません。

ただし、特に発症後5日間は他人に感染させるリスクが高いことに注意が必要です。発症後5日を経過し、かつ、症状軽快から24時間経過するまでの間は外出を控えていただくことを推奨するとともに、その後も10日間が経過するまでは、マスク着用やハイリスク者との接触は控えていただくことを推奨します。

また、医療機関受診や治療費については通常の保険における自己負担分が発生します。（1～3割負担）

■参考：沖縄県 療養期間のめやすと接触者について

<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/kansen/soumu/hokennsyosien/supportgroup1.html>

厚生労働省 新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）2.問4

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#Q2-4

Q8. PCR等検査費用、陽性者の入院費用は、現地窓口で支払いが必要になりますか？

A8. 医療機関で受診した場合は、初診料、検査費、入院費用等の自己負担分については、窓口での支払いが生じます。

6.よくある質問（FAQ）④

※令和5年9月29日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

●修学旅行中の検査について

Q9. PCR等検査者の検査結果が出ていない中において、検査をしていない他の生徒は、旅行行程を続けていいのでしょうか？

A9. 原則、医療機関等の指示に従ってください。

旅行中は、必要な感染防止対策（こまめな手指消毒、咳エチケット等）を心がけてください。

また少しでも体調に異変を感じたら、無理をせず、近くの医療機関に相談・受診を行ってください。

新型コロナウイルス感染が心配な場合は、沖縄県発熱コールセンター（TEL：098-866-2129）にご相談ください。

Q10. 軽症者用の宿泊施設はありますか？

A10. 5類感染症に変更になったことに伴い、療養者用宿泊施設は運営終了しました。検査結果で陽性となり、療養が必要な場合は、滞在中のホテル等で療養を行ってください。

沖縄修学旅行 防疫観光ガイドライン
～安全・安心な受入をめざして～

令和2年09月18日 発行
令和2年09月24日 更新
令和2年10月07日 更新
令和2年10月16日 更新
令和3年01月04日 更新
令和3年 2月 1日 更新
令和3年 4月 1日 更新
令和3年 9月 16日 更新
令和4年 1月 7日 更新
令和4年 3月 8日 更新
令和4年 11月 4日 更新
令和4年11月24日 更新
令和4年12月 2日 更新
令和5年3月13日 更新
令和5年6月22日 更新
令和5年9月29日 更新